



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年1月28日

上場会社名 コネクシオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9422 URL <https://www.conexio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 裕雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 中田 信也 (TEL) 03-5331-3702
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	130,946	△16.4	8,019	7.8	8,398	10.2	5,630	9.3
2020年3月期第3四半期	156,653	△18.7	7,441	1.1	7,618	0.4	5,151	3.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第3四半期	125.84		—					
2020年3月期第3四半期	115.15		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	102,330	49,234	48.1
2020年3月期	95,757	46,287	48.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 49,234百万円 2020年3月期 46,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△18.7	9,600	△7.1	9,900	△5.9	6,500	△7.2	145.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	44,737,938株	2020年3月期	44,737,938株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	153株	2020年3月期	122株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	44,737,789株	2020年3月期3Q	44,737,816株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	9
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	10
(セグメント情報)	11
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が広がり、個人消費や雇用に陰りが生じています。社会経済活動は一時的な持ち直しの動きがあったものの、11月以降に感染再拡大が見られるなど厳しい状況が続いています。

当社が事業活動を展開する携帯電話市場におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、4月の緊急事態宣言および総務省からの要請や通信キャリアの方針に基づき、全国のキャリア認定ショップにて時短営業または臨時休業や受付業務の制限が実施されました。同宣言の解除後は、キャリア認定ショップの営業活動は通常に戻り、来客数や販売台数が回復しました。また、新しい通信規格である「5G」（第5世代移動通信システム）の商用サービスが開始され、人気機種が発売も伴い「5G」対応端末が普及し始めています。一方、政府による携帯電話料金の値下げ要請を受け、通信キャリア各社は新料金プランを発表し、市場競争は新たな局面を迎えようとしています。

このような事業環境において、新型コロナウイルス感染症拡大における営業自粛の影響等を受け、第1四半期会計期間の販売台数（前年同期比46.7%減）は大きく落ち込んだものの、その後、キャリア認定ショップの営業活動は通常に戻り、第3四半期累計期間の販売台数は125万台（前年同期比16.3%減）まで回復しました。また、収益面については第2四半期累計期間はコロナ禍による影響で減益となったものの、第3四半期会計期間では人気機種発売に加えて、法人事業ではテレワーク需要による独自収益と巣ごもり需要によるプリペイドカード販売の伸長により増益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高130,946百万円（同16.4%減）、営業利益8,019百万円（同7.8%増）、経常利益8,398百万円（同10.2%増）、四半期純利益5,630百万円（同9.3%増）となりました。

◆業績

(単位：百万円)

区分	2020年3月期 第3四半期 累計期間	2021年3月期 第3四半期 累計期間	増減率 (%)
売上高	156,653	130,946	△16.4
営業利益	7,441	8,019	7.8
経常利益	7,618	8,398	10.2
四半期純利益	5,151	5,630	9.3

セグメントの業績は、次のとおりであります。

コンシューマ事業

「コンシューマ事業」は、コンシューマ顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売、スマートフォン利用のお客様ニーズに応えリレーションを強化するための当社独自サービス「nexiplus（ネクシィプラス）」の運営、保険代理店事業（ほけんの窓口の運営）を行っております。

コンシューマ事業につきましては、キャリア認定ショップにおいて、三密回避を徹底した感染防止に努めながら接客を進めました。また、当社独自サービスであるnexiパッケージでは新たなラインナップを拡充するとともに、会員数が順調に増加しました。さらに、新たな取組みとして、ショッピングモールなどへの出張販売を実施することで、潜在顧客の開拓に努めました。営業自粛の影響を受け、販売台数に連動する収益は著しく減少いたしました。各種経費の削減に加えて通信キャリアからのコロナ対策支援金により減益幅は縮小いたしました。

この結果、売上高117,534百万円（前年同期比18.5%減）、営業利益9,197百万円（同4.0%減）となりました。

◆業績

（単位：百万円）

区分	2020年3月期 第3四半期 累計期間	2021年3月期 第3四半期 累計期間	増減率（%）
売上高	144,133	117,534	△18.5
営業利益	9,578	9,197	△4.0

法人事業

「法人事業」は、法人顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を中心としつつ、モバイル端末管理運用サービス（モバイルヘルプデスク、端末設定等のアウトソーシング業務）やソリューション商材、コンビニエンスストアに対するプリペイドカードの提供及びIoTソリューションの提供を行っております。

法人事業につきましては、コロナ禍において従来より導入していたテレワークの更なる推進や交代勤務制を活用し営業活動を継続いたしました。テレワーク需要によりスマートフォン販売は引き続き好調に推移し、これに伴いソリューション商材の新規契約・導入が増加いたしました。ヘルプデスクは、既存顧客のテレワーク推進により契約回線数が増加するとともに、スマートフォンへの切替えに伴うサービス範囲拡大などにより顧客単価が上昇いたしました。IoTソリューションにつきましては、パートナー企業と共にローカル5G/プライベートLTEにおける「Nokia ローカル5Gテクノロジーパートナーシップ」に参加いたしました。今後とも当社はローカル5G/プライベートLTEに対応したエッジコンピューティングゲートウェイの開発・提供を推進いたします。また、ゲートウェイを中核としたIoTシステムインテグレーションに注力し、製造業、運輸業、建設業、サービス業や公共分野といった幅広いお客様に向けたソリューションを展開してまいります。

この結果、売上高13,412百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益1,982百万円（同74.3%増）となりました。

◆業績

(単位：百万円)

区分	2020年3月期 第3四半期 累計期間	2021年3月期 第3四半期 累計期間	増減率 (%)
売上高	12,519	13,412	7.1
営業利益	1,136	1,982	74.3

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は前事業年度末に比べて7,507百万円増加し、83,031百万円となりました。これは、未収入金の増加23,469百万円、商品及び製品の増加2,545百万円、受取手形及び売掛金の減少13,429百万円、現金及び預金の減少5,245百万円等によります。

固定資産は前事業年度末に比べて934百万円減少し、19,299百万円となりました。これは、キャリアショップ運営権の減少499百万円、有形固定資産の減少326百万円等によります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて6,572百万円増加し、102,330百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて3,547百万円増加し、46,646百万円となりました。これは、未払金の増加10,784百万円、買掛金の増加2,143百万円、未払代理店手数料の減少4,610百万円、賞与引当金の減少2,880百万円、未払法人税等の減少1,465百万円等によります。

固定負債は前事業年度末に比べて78百万円増加し、6,449百万円となりました。これは、退職給付引当金の増加171百万円、資産除去債務の減少73百万円等によります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて3,625百万円増加し、53,096百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末に比べて2,946百万円増加し、49,234百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による増加5,630百万円、配当金の支払による減少2,684百万円等によります。

この結果、自己資本比率は48.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で緊急事態宣言が再発令され、未だに収束時期を正確に予測することが困難な状況にあります。今後、再びキャリア認定ショップ等での時短営業または臨時休業や受付業務の制限が余儀なくされる可能性や通信キャリア各社により発表された新料金プランがもたらす市場競争の影響について、今後も注視を要する状況にあります。

なお、当事業年度における第3四半期累計期間の進捗率は、売上高77.0%、営業利益83.5%、経常利益84.8%、四半期純利益86.6%となりましたが、上記の不透明な要素に加えて、コロナ禍における業務継続に対する従業員への特別慰労金の支給を検討していることを踏まえ、現段階で2020年10月29日に発表した通期の業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,387	15,142
受取手形及び売掛金	40,380	26,951
商品及び製品	4,922	7,467
未収入金	8,812	32,281
預け金	111	126
その他	914	1,067
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	75,524	83,031
固定資産		
有形固定資産	4,262	3,936
無形固定資産		
のれん	1,390	1,326
キャリアショップ運営権	8,319	7,820
その他	436	451
無形固定資産合計	10,146	9,598
投資その他の資産	5,824	5,764
固定資産合計	20,233	19,299
資産合計	95,757	102,330
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,394	15,538
未払代理店手数料	10,128	5,517
未払金	6,874	17,659
未払法人税等	2,547	1,082
賞与引当金	4,651	1,770
役員賞与引当金	34	17
その他	5,467	5,060
流動負債合計	43,099	46,646
固定負債		
退職給付引当金	5,580	5,752
資産除去債務	668	594
その他	122	102
固定負債合計	6,371	6,449
負債合計	49,470	53,096

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,778	2,778
資本剰余金	585	585
利益剰余金	42,922	45,868
自己株式	△0	△0
株主資本合計	46,286	49,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	1
評価・換算差額等合計	0	1
純資産合計	46,287	49,234
負債純資産合計	95,757	102,330

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	156,653	130,946
売上原価	118,483	93,667
売上総利益	38,169	37,278
販売費及び一般管理費	30,728	29,259
営業利益	7,441	8,019
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	0
店舗移転等支援金収入	110	90
貸倒引当金戻入額	3	0
雇用調整助成金	—	259
その他	68	41
営業外収益合計	187	392
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産除売却損	4	—
不動産賃貸費用	1	—
契約解約損	3	5
投資事業組合運用損	—	3
その他	1	3
営業外費用合計	10	12
経常利益	7,618	8,398
特別利益		
固定資産売却益	—	24
投資有価証券売却益	174	—
その他	—	0
特別利益合計	174	25
特別損失		
固定資産除売却損	14	27
減損損失	69	24
店舗閉鎖損失	40	19
その他	0	1
特別損失合計	124	73
税引前四半期純利益	7,668	8,350
法人税、住民税及び事業税	2,657	2,864
法人税等調整額	△140	△143
法人税等合計	2,517	2,720
四半期純利益	5,151	5,630

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、携帯電話等の通信サービスの契約取次、契約者へのアフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を行う、販売代理店事業を基幹事業としています。

したがって、商品販売及びサービス提供を行う顧客の属性から、「コンシューマ事業」、「法人事業」を報告セグメントとしております。

「コンシューマ事業」は、コンシューマ顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売、スマートフォン利用のお客様ニーズに応えリレーションを強化するための当社独自サービス「nexiplus（ネクシィプラス）」の運営、保険代理店事業（ほけんの窓口の運営）を行っております。

「法人事業」は、法人顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を中心としつつ、モバイル端末管理運用サービス（モバイルヘルプデスク、端末設定等のアウトソーシング業務）やソリューション商材、コンビニエンスストアに対するプリペイドカードの提供及びIoTソリューションの提供を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	法人事業	計		
売上高	117,534	13,412	130,946	—	130,946
セグメント利益	9,197	1,982	11,179	△3,159	8,019

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,159百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の影響）に記載した内容から重要な変更はありません。